

# 共用施設の利用体系に関する 国内外調査 (概要)

令和2年2月28日

文部科学省計算科学技術推進室

# 大学情報基盤センター等の動向調査結果（概要）

- 利用料の考え方はセンターによって異なり、電気代のみ、電気代＋人件費、電気代＋人件費＋システム本体の調達費などが存在。
- すべてのセンターで産業界利用（成果公開）が存在。その場合の利用料は一般利用（アカデミアの利用）に対して1～3倍の金額となっている。
- 一部の機関では成果公開型に加えて成果非公開型の産業界利用が存在。課金額は一般利用に対して2～8倍の金額になっている。
- ABCIについては、一般利用、民間利用の区別なく運営費回収方式としている。また、成果の公開義務は無い。

# 欧米のスパコンの動向調査結果（概要）

- ・利用枠について、米国のスパコンセンターでは、
  - ① 科学的にインパクトがあり、フラッグシップマシンのスケールが必要な課題(～60%)
  - ② DOEのミッションに沿った課題(～20%)
  - ③ ①、②への移行が期待される課題(～20%)の3分類が存在。
- ・利用料は成果の公開／非公開やアカデミア／産業界で差をつけているセンターが大半（それぞれ前者の方が低い傾向）。
- ・産業界の非公開利用は、すべてのセンターで運用費、人件費に加え、設備費やシステム調達費も加味した利用料を設定。
- ・有償利用の対象となる費用は以下の通り。
  - A：建物・インフラの設備費(減価償却を考慮)
  - B：計算機システムの調達費(減価償却を考慮)
  - C：運用費(電気代、水道代等)
  - D：人件費(支援・運用要員)
  - ✓ 利用料の積算はセンター毎に異なるが、成果の公開/非公開、アカデミア/産業界により区別している（それぞれ前者の方が低い傾向）。
  - ✓ 特に産業界の非公開利用は、A+B+C+Dのコストと市場価格を考慮して決定されている。

# SPring-8の利用料金体系に関する基本的な考え方

- ・建設費は国が負担。
- ・科学的な審査を通過し、成果を公開する課題は運用費を国費で負担（ただし、消耗品のみ自己負担）。成果非公開の課題は運用費に相当する額を自己負担。
- ・優先利用、時期指定、測定代行などのサービスについては、対価を徴収。

